

平松一夫先生を偲んで



平松一夫先生（当時：公益財団法人財務会計基準機構（FASF）評議員、関西学院大学名誉教授、関西学院理事長）が2020年12月2日にご逝去されました。公益財団法人財務会計基準機構（FASF）及び企業会計基準委員会（ASBJ）として哀悼の意を表わすとともに、ご遺族の皆様に謹んでお悔やみ申し上げます。

当財団設立以降における、平松先生の主な役職は以下のとおりです。

2001年7月～2006年3月 理事

2007年4月～2013年3月 企業会計基準委員会委員（非常勤）

2009年7月～2016年10月 IFRS 翻訳レビュー委員会委員長

2017年6月～2020年12月2日 評議員

このように、当財団の設立時に理事にご就任いただくとともに、近年では評議員にご就任いただき、当財団の運営に多大なる貢献をされました。また、会計基準の開発の分野においても、ASBJの委員としてご貢献され、また、国際会計に関する学術的知見を活かして、IFRS 翻訳レビュー委員会の委員長としてご尽力いただきました。

さらに、国際会計人材の育成にもご尽力いただき、『季刊会計基準』では、「Accounting SQUARE グローバル会計人材の育成—世界における日本の役割」（第46号（2014年9月号））をご寄稿いただくとともに、2017年7月開催の国際会計人材ネットワーク第1回シンポジウムでは、パネルディスカッション「求められる国際会計人材像」のモデレーターをお引き受けいただきました。

平松先生は、関西学院大学で教鞭を執り、さらに関西学院大学学長、関西学院理事長、企業会計審議会会長、日本会計研究学会会長、国際会計研究学会会長、世界会計学会会長などの要職を歴任されました。ご多忙を極める中にもかかわらず、さまざまな形で、その運営並びに会計基準の開発等に長きにわたりご協力いただきましたことに、当財団及びASBJとして、平松先生に改めて感謝を申し上げます。